



テーマ

河川美化と里山保全から考える持続可能な地域づくり

連携先

淀川管内河川レンジャーアドバイザー（環境再生医（上級））

主な活動場所

守口市内淀川河川敷（庭窪ワンド；河川美化）、枚方市穂谷地区（里山保全）
* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

河川美化、生態系、里山保全、耕作放棄地、農業支援、持続可能な地域づくり

活動内容 概要

里山と河川という水の流れに着目しながら、環境に配慮した持続可能な地域づくりを目指します。河川美化や里山保全にかかる活動のほか、住民をはじめとするさまざまな地域主体を活動に巻き込むための広報活動にも取り組みます。

活動の目的

- ・ 河川美化、里山保全の担い手として活動に取り組む
- ・ 環境保全活動の必要性、魅力を地域に向けて発信する
- ・ 環境を軸とした持続可能な地域づくりのための体制構築

求める人材像

- ・ 水の流れを中心とした環境保全活動に関心のある方
- ・ 環境保全活動の必要性、魅力を地域に向けて発信できる方
- ・ さまざまな年代、立場の人びとと協力してプロジェクトに取り組める方

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

● 水の流れに着目しながら、持続可能な地域づくりのあり方について考えます。SDG s について実践的に学び、考える機会を提供します。

（例：ゴミ分析活動を通じて目標12「つくる責任、つかう責任」について考える）

さまざまな人びとと、たがいの立場を尊重しながら協働するスキルが身につきます。



テーマ

子どもの自然体験教室のサポーター

連携先

長良・暮らしとしぜん楽校主催 生きもののクラブ・天神川
美濃白川・どんぐり会、有機ハートネット

主な活動場所

岐阜県岐阜市長良地区、岐阜県白川町
* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子どもの自然体験、子どもエコクラブ、子どもと自然、環境教育、自然科学教育

活動内容 概要

子どもの自然体験教室に参加し、子どもの安全確認と子どもとの交流を図りつつ、環境教育のありかたを考える。

活動の目的

子どもの自然体験教室に参加し、子どもと交流しながら、子どもの自然体験の意義について考える。環境教育のありかた、自然科学教育のありかたを考える。

求める人材像

- ・ 自然が好き
- ・ 子どもが好き
- ・ ムシに触れる（ムシをさわられるようにになりたい）

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 子どもの自然体験の意義を理解できる
- 環境教育・自然科学教育のありかたを考えることができる
- 有機農業の基本と現状の問題点を考えられる
- 人工林の問題点などの森林問題を考えられる
- 広葉樹の植林の基本技術に触れることができる



テーマ

有機農業と里山保全

連携先

山城・里山の会

主な活動場所

京都府京田辺市

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

里山保全、有機農業、自然体験

活動内容 概要

京都府南部の里山を含めた畑で里山保全とそれに伴う有機農業を体験する。

活動の目的

現在、自然保護において重視されている里山保全を本来の農作業と結び付けることの重要性を学ぶ。

求める人材像

- ・ 自然が好き
- ・ ムシに触れる
- ・ 畑、土いじりが好き

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 有機農業の基本技術に触れられる
- 里山保全の意義を考えられる

テーマ

「村・留学」で考える地域社会と生活の未来

連携先

PaKT（村・留学創設）松榮秀士氏

主な活動場所

活動場所の選択・決定は、FAL 履修者と相談の上、プログラムの冒頭で行う。

2023 年度の候補地は、

①静岡県伊豆市、②岡山県高梁市吹屋、③宮崎県五ヶ瀬町、④鹿児島県奄美大島（若干名）

キーワード

村・留学 (<https://mura-ryugaku.com>)、地域社会、自然、創造力、持続可能性、SDGs、Art of Living（暮らしの芸術）

活動内容 概要

留学は海外だけじゃない。初年度の春学期は留学を作る「プレ村・留学」を実施する。プレ村・留学は、村・留学を自ら作るプログラムである。秋学期は、作ったプログラムが全国の大学生に提供されることになる。自らの興味関心に基づきテーマを設定する。テーマを基に、現地のフィールドワークを実施し、地域の人々や自然との出会い・交流の中で、現地での具体的な活動内容を設定し、webpage を構築する。

活動の目的

日本の多様な地域社会やそこでのかけがえのない人々の生き方・生活を体感する。それを通して自身の生活・経験を異なる視点から見直し、オルタナティブで多面的な価値観・主体的創造力を身につける。

求める人材像

地域に関心がある人、自然と人間の関係や人間の多様に生き方に関心がある人。自主性・創造性を身につけたい人。SDGs やサステナビリティに関心のある人。プログラムを作ることに興味のある人。

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

● プログラム内容が各自毎に多様であるため、得られる知識・スキルも多様である。ただし、全体に共通して、日本の多様な地域社会における人々の生活と自然、持続可能な社会やそれを担っている主体・協働のあり方等に関する包括的・一体的な知識・感性を身につけることができる。



テーマ

子どもの自然体験教室のサポーター

連携先

ボレボレランド

主な活動場所

京都府京田辺

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子どもの自然体験、子どもエコクラブ、子どもと自然、環境教育、自然科学教育

活動内容 概要

子どもの自然体験教室に参加し、子どもの安全確認と子どもとの交流を図りつつ、環境教育のありかたを考える。

活動の目的

子どもの自然体験教室に参加し、子どもと交流しながら、子どもの自然体験の意義について考える。環境教育のありかた、自然科学教育の在り方を考える。

求める人材像

- ・ 自然が好き
- ・ 子どもが好き
- ・ ムシに触れる（ムシをさわられるようにになりたい）
- ・ 畑、土いじりが好き

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 子どもの自然体験の意義を理解できる
- 環境教育・自然科学教育のありかたを考えることができる



テーマ

熊野の森から社会を考える

連携先

熊野森林学習推進協会

主な活動場所

和歌山県新宮市

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

森林保護・活用、地域再生、世界遺産、神仏習合の歴史、自然と社会との関係性

活動内容 概要

熊野森林学習推進協会は、森林文化の健全な維持と保全を目的とし、「間伐作業」や「複層林探検」等の体験を通じて自然と社会の関係を考える「森林体験プログラム」を継続している。ここに学生が加わり、熊野の森で地域の人々と交流しながら過ごし、共に自然と文化について考えることで、過疎化が進む地域の発展と自然保護を両立させる方法を見出し、イベントや広報活動の実践を行う。

活動の目的

実際の体験やイベントを通じ、熊野の森林というミクロな立ち位置から、古代からの信仰と近代化に振り回された歴史、世界遺産登録や森林管理・規制等の公共政策の政治性、日本全国の過疎化の現実などのマクロな視点で社会を考える。

求める人材像

知らないものごとに興味を持ち、何事にも積極的にチャレンジする人／頭も体も使って現代社会を理解したい人

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 様々な人びととコミュニケーションをとり、協働する力
- 自然と社会との関連を歴史、政策、持続性など多様な観点から考察する力
- 現代社会の課題を見つけ出し、適切に情報収集して解決する力



テーマ

壱岐ボランティアリズムから社会を考える

連携先

壱岐島おこし応援隊チーム防人（ボランティア団体）

主な活動場所

長崎県壱岐市

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

ボランティアリズム、海洋ゴミ、東アジアの歴史、自然と社会との関係

活動内容 概要

ボランティアリズム in 壱岐は、市内の中・高生約150人に加え、五島、対馬、長崎など島外ボランティア団体も参加する10年以上続くイベントである。日本遺産にも登録されている壱岐の歴史を体感しつつ、他大学の学生や社会人団体のメンバーとともに、環境へのグローバルな取り組みや島嶼部のまちおこしについて考える。

活動の目的

スタッフとして関わることにより、地元の人々と協働したイベント運営や若者を対象としたSNS等での広報も含め、自ら課題を見つけて積極的に行動することを目指す。同時に、東アジアの友好・平和についても考察を広げたい。

求める人材像

知らないものごとに興味を持ち、何事にも積極的にチャレンジする人／頭も体も使って現代社会を理解したい人

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 様々な人びととコミュニケーションをとり、協働する力
- 自然と社会との関連を歴史、政策、持続性など多様な観点から考察する力
- 現代社会の課題を見つけ出し、適切に情報収集して解決する力